

ぶらり散歩



津波対策で嵩上げされた堤防の向こうには、昔ながらの飯岡の浜があった。



飯岡刑部岬にある展望館～光と風～の展望デッキから飯岡地区を望む。

震災からまもなく8年目を迎えるとしてこの日、久しぶりに良い天気になったので、5歳になる孫と彼女のお友達を誘い、飯岡の海岸をぶらりと散歩した。

震災の当時はまだ生まれていなかった二人を連れ、いいおか潮騒ホテルに併設されている「旭市防災資料館」を見学。当時の悲惨な状況を語る展示物を見ながら、地震と津波のことを一緒に勉強。幼稚園児の二人は、津波の怖さを感じたのか、おとなしく館内で上映されている被災と復興の記録ビデオをじっと見ている。

資料館の道路の向こう側、以前は海が見えていたのだが、現在は堤防が嵩上げされてここからは見ることができない。震災以降、津波対策の整備がすすめられたのだった。砂浜へ降りる階段を登ると目の前には昔と同じ飯岡の砂浜が広がっていた。嵩上げされた堤防には大きな竜の壁画が書かれており、ひときわ目を惹いている。



いいおか潮騒ホテルに併設されている、旭市防災資料館。数日後の3.11に行われるイベントの準備がすすめられていた。



飯岡地区ゆかりの竜王岬にちなみ、旭市出身の黒板アート作家、鈴木蘭菜(らな)さんを中心に制作された壁画アート作品『竜王絵巻』。100mの大作だ。



『竜王絵巻』の中には、制作に参加した人たちの手形もアート作品として描かれている。5歳児たちは、ここでも自分の手と比べながら大はしゃぎ。

お腹もいっぱいになった二人を連れ、飯岡漁港の近くにある「いいおかみなと公園」へ。子供連れの家族で賑わっていた。大型の複合遊具があるので二人はここでも大はしゃぎ。還暦をとくに過ぎた私にはとても二人の動きにはついていけない。今後近いうちに、大きな地震が発生するとう。この子たちが無事で乗り切ることを願いつつ、家路についた。



津波が発生した際、波の力によって扉が閉まり、川の上流域への遡上を防ぐフラップゲート。他にも避難タワーや避難道路などの整備も進められている。



被災と復興を紹介するビデオをじっと見つめる5歳児たち。どんな気持ちでこのビデオを見ているのだろうか。



資料館に震災遺構として保存されている「刻忘れの時計」。旧JAちばみどり飯岡支所前に設置されていた。津波で被災し、被災時刻の5:26を指して止まっている。



旭防災資料館の館内。復興に向けての市民の声や、かなりショッキングな写真パネルや資料も展示されている。



飯岡漁港の片隅には、震災で被災したのだろうか…。壊れた漁船が数隻横たわっていた。



遊んだ後はもぐもぐタイム。食べることも、遊ぶことが大好きな年頃だからまあいいか……。



いいおかみなと公園。二人にはやはり、ここが一番楽しかった様子。今度はお弁当持参で来ようね。



肉食系女兒?に人気の一品。フライドポテトも大好物らしく、あっという間に平らげてしまった。



美味しいご飯をたくさん食べて、すっかりご機嫌なふたり。さあ、これから公園で遊ぶぞ～!